

平成 27 年度 事業 計画 書

(平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

1 体験交流事業

① さっぽろの子どもを育む事業

さっぽろの子どもたちが豊かな感性を育み心身ともに健全な青少年として成長することを目的に開催される事業に対し、少年リーダーの発想が生かされるような活動を推進します。

その一環として、市内各地から集まった子どもたちが広く交流し活発に活動できる多彩なプログラムを事務局で合同企画し、『札幌市子ども大会～10の星フェスティバル～』を平成 27 年 10 月 17 日（土）に開催します。

また、野外・屋内にかかわらず少年団体での体験や活動が少ない子どもたちに、豊かな自然の中で生活する体験から生まれる喜びや達成感を味わってもらうために『子ども会学校』を開設します。

そして、各支部の特性・特色を生かし、少年リーダーを中心として参加する子どもたちのアイデアを引き出し魅力ある事業を行います。例えば、参加する子どもたちへ行き先を告げず列車を利用して目的地で活動するドリーム号・ミステリーの旅や木札カルタ大会などです。その他、他市町村に出向き農業体験などを行う子どもたちとの交流を深める事業や区内の施設を利用して定例的に子どもたちが交流できる事業などを行います。

② 子どもまつり開催事業

区内の多くの子どもたちや地域住民が参加し、各支部の特色を生かした子どもまつりや遊芽カーニバルを開催します。

③ 子どもの居場所づくり事業

子どもの活動がない地域は子どもや地域に活力がなくなってしまうといわれています。そこで、地域の子供たちに様々な活動ができる居場所を開設し、子ども会員のみならず多くの子どもたちがいきいきと参加し活動することで交流の輪を広げていきます。また、事業を開催するにあたり安全確保に努め、内容の充実を図り、子どもたちと少年リーダーが活動する場・体験する場を設けていきます。

尚、小学校または区民センター、地区会館、まちづくりセンターなどの利用料金などを助成し、単位子ども会の活動の場も支援します。

④ 大志塾事業

札幌市の子ども 200 名を対象に市内各地から大志塾活動広場に集まった仲間や少年リーダーと触れ合うことで同年代、異年齢と交わる楽しさを味わってもらうために『大志塾事業』を実施します。大志塾事業を修了した子どもたちについては、支部事務局を経て養成・初級の少年リーダー研修生として受け入れを行いません。

⑤ 少年育成団体交流事業

少年育成 6 団体（日本ボーイスカウト北海道連盟札幌地区、ガールスカウト札幌地区協議会、札幌海洋少年団、札幌市スポーツ少年団、札幌鉄道少年団、札幌市子ども会育成連合会）の関係者で子どもの健全育成に関わる問題点などを協議し、各少年団体の更なる活動推進を図ります。

尚、6 団体の交流と PR を目的として平成 27 年 9 月 26 日札幌駅前通地下歩行空間において『友遊キッズランド』を開催し、その実行委員会による企画・運営を事務局として支えます。

⑥ 野外活動推進事業

子どもたちの健全育成のために野外活動や地域活動の必要性が見直されています。そこで、野外活動やキャンプを経験したことがない子ども会を対象に、市内の各青少年キャンプ場を利用して野外活動の啓発とキャンプ場の利用増大を図るために各支部主催のもとに事業を開催します。例えば、冬の体験キャンプ、3 世代交流キャンプ、雪像やかまくら作りなどです。

⑦ キャンプ場管理運営事業

札幌市が 3 区（厚別・豊平・手稲）に設置しているキャンプ場について当会が管理運営し子ども会や地域のファミリー、その他各種青少年育成団体などの利用促進に努め、一層の野外活動及び体験学習の普及を図り、各支部の少年リーダー養成研修においても積極的に活用します。

尚、西岡青少年キャンプ場（豊平）、小野幌青少年キャンプ場（厚別）、手稲区青少年キャンプ場について活動可能な時期を拡大することを検討し、学校や地域において積極的に炊事や遠足などに活用してもらえるように PR していきます。

2 育成事業

① 少年リーダー養成研修事業

少年リーダー養成の基本的な考え方として『心とワザを磨こう！～子どもたちに魅力のあるリーダーを育てよう～』を事業にあたるスタッフのテーマとし、思いやりのある心豊かな少年リーダーを養成するために研修内容を充実させ、日常の子ども会活動をはじめ、あらゆる機会に少年リーダーとして実践する場を設けます。

サブテーマとして「個性あふれる人間性の豊かな子どもを育てよう」を研修の基本柱に入れて、少年リーダーの心に社会や家族・周囲に感謝する気持ちが育まれるよう取り組んでいきます。

研修の内容も他区との相互交流研修を実施するとともに各支部の独自性を高める研修など、子ども会や地域の活動に生かせる工夫をし、活動の充実と活性化につながる研修を行います。

各支部においては、単位子ども会のない地区の子どもたちも積極的に受け入れて少年リーダー研修につなげ、単位子ども会の結成となるよう努めるとともに、大志塾事業とも連携を図ります。

道内研修は、各種研修の集大成として明日につながる少年リーダーの育成を目指して各支部より推薦を受けた中・高生の少年リーダー研修生を対象に 2 泊 3 日の研修を行います。

② 少年リーダー研修事業

少年リーダーが地域に帰り実践活動をより充実させるため、各支部は少年リーダーの活動に対する方策を積極的に助言・支援します。また、少年リーダーに各種事業への支援を要請し、活動の活発化を促します。

地域活動に必要な少年リーダーとしての知識や技術を修得し、他都市の活動を知り、更に、少年リーダーとしての意識を高めるため、全国子ども会連合会主催シニア・リーダー研修会（平成 27 年 11 月実施予定：国立オリンピック記念青少年総合センター予定）へ少年リーダーを派遣し、その研修成果を報告書にとりまとめて各支部の研修に生かしていきます。

名 称 区 分	対象学年	内 容	所 管	参加 予定者数
(1)少年リーダー養成研修	小学5年生以上	開講式（1日） 夏季・冬季（各1泊2日） 秋季（1日） 閉講式・修了式（1日）	各支部	1,200名
(2)少年リーダー初級研修	中学1年生以上			
(3)少年リーダー中級研修	中学2年生以上			
(4)少年リーダー上級研修	高 校 生	開講式（1泊2日） 夏季（1泊2日・2泊3日） 秋季（1日） 冬季（2泊3日） 閉講式・修了式（1日）	本 部	200名
(5)道 内 研 修	中 高 生	1年間の集大成・まとめ（2泊3日）	各支部及び本部	200名

③ 育成者・指導者支援事業

単位子ども会のみならず子どもの育成に関わる育成者の資質向上と関係機関との連携を図り、指導者の養成を目指します。また、各区支部において支部の実情に沿った研修会を開催します。

少年育成団体に関する諸課題について認識を深め、他都市の実態を知るとともに運営技術などを修得し、地域活動に還元してもらうために第 48 回全国子ども会育成中央会議（平成 27 年 10 月 17 日～19 日：群馬県渋川市）、そして、札幌市で行われる第 52 回指定都市子ども会育成研究協議会（平成 27 年 11 月 7 日～8 日）に育成者の協力を得るとともに大会に参加します。

④ 職員研修事業

本部及び支部事務局の職員に対し、各事業を実施するにあたり子どもたちを指導できる資質やワザを磨くための研修を行います。また、キャンプ場の実技やレクリエーションの指導ができるように専門家を講師に招いて資質を高めていきます。

⑤ 指導員（少年リーダー）派遣事業

少年リーダーや指導者がいない地域の活性化を図るために、『この指とまれ！』事業として札子連に登録している少年リーダー及び少年リーダー上級研修生を派遣し、地域の子どものたちや関係各種団体の活動が円滑に行われるよう支援します。例えば、野外活動やキャンプなどに必要な技術やレクリエーションの指導を行うとともに、KYT（危険予知トレーニング）を通して活動の安全確保に努めます。

⑥ 子ども会活動活性化事業

- 1、単位子ども会が行う事業のなかで参加した子どもと大人が異世代ふれあいを通じた交流や地域への愛着を育むような事業に対し、活動の助成をします。
- 2、ボランティア精神を育むため、『赤い羽根共同募金』に協力します。
- 3、札幌ならではの雪をテーマとした『心あったかな灯火をともそう運動』などを各支部で開催し、少年リーダーも積極的に参加するよう促進していきます。
- 4、各支部において地域の子どもの主体としたフォーラム、サミット及びパネル展を開催します。

⑦ 子ども会活動表彰事業

子ども会及び育成者組織にあつては7年以上、子ども会の育成者にあつては10年以上活動を継続してきた団体及び個人を対象に、表彰状並びに記念品を贈呈して表彰します。

全国子ども会連合会には20年以上、指定都市子ども会育成連絡協議会には15年以上継続して活動してきた団体及び個人について審査会を経て推薦します。

3 普及啓発事業

① 広報活動事業（子ども会加入促進事業含む）

幅広い子どもたちとその保護者、地域の人たちに対して子ども会の意義や活動の楽しさを知っていただき、子ども会員の加入促進を図ります。

また、各支部の活動や少年リーダー研修、その他事業について多くの人たちに知ってもらうためにホームページ上で広く活動状況や情報を掲載します。他にも、事業を紹介していくために「さっぽろっ子」を年3回、「目で見るさっぽろの子ども会」を年1回、各支部機関誌を随時発行します。

4 安全会事業

① 子ども会安全会事業

安全思想の普及を図るためKYT(危険予知トレーニング)や安全に携わる事業を行うとともに、子ども会活動または諸事業に安心して参加してもらうため育成者や子どもたちに安全共済会への加入を推進していきます。全子連との契約業務により共済金・見舞金などに係わる業務も行い、各支部においても同様に業務を行います。

また、地域の子ども会活動で、10年間無事故である子ども会に、賞状並びに記念品を贈呈して褒賞します。

5 指定都市育成研究協議会開催

札幌市開催の第52回指定都市子ども会育成研究協議会に向けて実行委員会を中心に取り組みます。協議会は、平成27年11月7日(土)～8日(日)京王プラザホテル札幌において開催されます。